

追悼

太田 光重氏
同窓会本部 前会長を偲んで

あなたは9年もの長い間、母校の同窓会長として奮闘努力され本当にお疲れ様でした。毎年、東京秋工会の総会では元気な姿が見られるのが楽しみで秋田訛りがよく似合い、ユーモアを混じえながらそして皆が理解できる分かり易い言葉で同窓会長挨拶をされ、頼もしく聞いておりました。

いつも東京の同窓会の翌日は静岡へ移動し連日のスケジュールになっているので、2次会はほどほどにして途中で抜け出し、宿泊のホテルから連絡を貰うようになって、足腰が弱ってきたかなと心配しておりました。そろそろ会長をやめたい意向を洩らした時に、110周年記念まで頑張ったらどうかと励ましたつもりが逆に悪かったかなと後悔しています。



太田 光重氏

彼は高校3年間、学業、スポーツに万能で3年ではテニス部のキャプテンとして活躍しました。勉強の姿は紙に書いて覚える方で、結果はいつもトップクラスの成績でした。

チームワークも良く学級対抗のラグビーでは2年生の時に3年生に勝った記憶があります。

レジャー面でも記憶に残る、寒かった十和田湖のバンガロー、寒風山と戸賀の海水浴場で同じ女子高生グループとの偶然の出会いからグループ交際など、高校3年生の数々の思い出深いものがありました。

同期の桜コンビで北勢工業を立ち上げた後も、旅行好きで各地を巡り、ある時は自転車で箱根越えをした経験があるというタフな身体の持ち主でした。

彼と会うといつも決まって「よう、元気だったが」と声がかけて、元気がいいのが印象的でした。

昭和31年卒の同期生は7科、9級の各クラスから実行委員を選出し、平成8年8月に「卒業40周年記念同期会」を秋田ビューホテルで開催しました。卒業生総勢138名の出席者でした。記念写真には「昭和31年同期会」の横幕と「応援旗」「昭31同期会」の旗を掲げ、その下に顔の判別が出来ないほどの先生と卒業生が写っています。かつて、秋工同窓会多しと言えど同年度卒業の同期会はほかにないでしょう。彼はその時のMA20名出席者代表の実行委員でした。

そのほか同級会では銀座、横浜、名古屋万博、お伊勢参り、北勢工業の保養所、八幡平、田沢湖、仙台秋保温泉、伊豆熱海の還暦ゴルフ等、数々の同級会の幹事役をしてきました。

彼は毎年本部で発行する「秋工同窓会誌」の会長挨拶でこんなことを載せていました。

☆ 会長になった時「酒席の場で応援歌を唄い、コバルトブルーの応援旗を振ってただひたすら騒ぎながら母校ならびに同窓生にエールを送ってきた自分がはたして100年の重責を背負えるか心もとなく思います」

☆ 「会長として北海道、東京、静岡、東海、関西、の各支部、そして職場、地域支部等を訪問させていただき、金砂健児同窓生の皆様と交

流、懇親の機会をいただいて母校を思う心を柱に絆を深くしている皆様に感動と感激の念を感じてまいりました」

☆ 「在校時の応援歌練習は生涯忘れえぬ強烈な印象が思い起こされ、特に先輩、後輩のケジメ、世の中には順序というものがあること、忘れ去られる古き良き伝統が光輝いている。」

☆ 「私は旅が好きである。見知らぬ土地に行き、見知らぬ人との出会いを通して自分について振り返ることが出来る。人生は旅のようであると昔の人が言っていたことを思い出す。私の人生の中で秋田工業高校は大切な思い出の一場面である。旅をしているかのような様々な思い出に残る学校生活、友との出会い、何もかもが懐かしい、秋田工業高校のおかげで現在の自分があると思っている。」

在校生にエールを送る太田光重氏
平成22年度東京秋工会総会で

☆ 「ラグビー、駅伝には秋工の名譽を賭けた奮闘に同窓生一同、胸の高鳴りを覚えます。皆で心をひとつに質実剛健の心意気を金砂が原に轟かせましょう」等々

昨年の110周年記念式典、祝賀会には残念ながらMA31年卒の同級生は私ひとりでした。前太田同窓会長には健康さえ許されれば110周年の式典には是非出席して欲しいと願っていました。

翌日、彼のもとを訪ね式典の中で同窓会長表彰があったこと、祝賀会では秋田県民歌の詩吟、秋田民謡披露等の報告をしてきました。私の顔をみて突然の訪問にびっくりした様子でした。

母校の校舎改築については、同窓生の総意を込めて、彼は知事をはじめ関係者に対し説得を重ね、秋田工業高校は絶対に「金砂の地でなければならぬ」という強い信念を貫き通したと聞きました。

最後はMA31年卒の積立金の残金10万円を同窓会に寄付するようお願いして旅たちました。

後日、同級生幹事4名が同窓会館に赴き、間違いなく届けられた旨、新同窓会長からお礼の言葉がありました。

友よ安らかに・・・ご冥福をお祈りします。 合掌



平成25年度東京秋工会総会の太田光重氏

◆ 記事

鈴木 彦之 (昭和31年機械科卒)
東京秋工会 監事